平成30年度 高松市施策評価表(29年度分)

総合計画体系			施策	中心市街地の活性化	
計			政 策	拠点性を発揮できる都市機能の充実	
総合	ま	5	づくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	

総合評価
В
Ь

_		
評	局名	市民政策局
価担	課・室名	住宅・まちづくり企画課
当	電話番号	087-839-2136

1 施策の目的

対象(誰、何を対象としているか)
高松市中心市街地

意図 (どのような状態にしたいのか)

中心市街地の機能強化を図るとともに、魅力ある商業・業 務空間の形成や、まちなか居住を促進する再開発等の事業を 推進することにより、中心市街地の活性化を目指す。

2 施策の成果状況

	指標名	単位		2	実績値	29年度	中期目標 30年度	長期目標 35年度	指標のうごき
	中央商店街の空き店舗率	%		2/牛技	17.3	29+反 17.8			
战	成果状況 / 達成度評価				成兒	果状況の推	L <u></u> 養		dia.
深果指標	成果状況/達成度評価 果 各商店街でイベント等の実施によるにぎわいの創出や空き店舗活用 事業による店舗の出店誘致など、活性化に向けた様々な事業が行われ ているものの、平成29年度の空き店舗率は、目標値を下回る結果と						•		目 標達成度
	なった。 			10- 5- 0-	ı	1 1	1 1		(達成度) 80.5% ———
				H2	25 H26 H	127 H28 I	H29 H30	H31 H32	24点

	指標名	単位		2	実績値 28年度	29年度	中期目標 30年度	長期目標 35年度	指標のうごき
	中央商店街の歩行者通行量	人		2.112	130,566				
ьt	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					400	
集措標	成果状況/達成度評価 平成29年度の歩行者通行量は、各商店街のイベン るにぎわいの創出など活性化に向けた様々な事業が終いたものの、天候の影響等もあり、前年度と比べ約~少し、目標値を下回る結果となった。	ノト等の 継続的に 1 2 , 0)実施によ ご行われて) O O 人減	80000 60000 40000 20000		L L L 127 H28 H		H31 H32	目標 達成度 (達成度) 84.1% 25点

	指標名	単位		27年度	実績値 28年度	29年度	中期目標 30年度	長期目標 35年度	指標のうごき
	中心市街地の居住人口の割合	%			4.8	4.8	5.1	5.1	120
ᆎ	成果状況 / 達成度評価	成果状況の推移							
果指標	成果状況 / 達成度評価 前年度から 1 人減の 2 0 , 6 6 5 人とほぼ横ばいる 合としても前年度と同値の 4 . 8 %であり、目標値の いない。	6 ⁻			_		目標達成度		
				2		1 1	1 1		(達成度) 94.1%
				0- H2	25 H26 H	127 H28	H29 H30	H31 H32	28点

3 市民満足度調査の状況

	27年度		28年度	29年度	
満足度	位 (%)	47位 (18.2%)	35位 (20.0%)	
不満度	位 (%)	8位 (25.4%)	6位 (27.3%)	
重要度	位 (%)	36位 (60.5%)	31位 (64.8%)	

4 施策に係るコスト

	27年度(決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度(予算)
事業費	516,668	129,445	109,484	200,692
人件費	31,078	46,713	43,777	46,053
トータルコスト	547,746	176,158	153,261	246,745

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題

【市民政策局】第2期基本計画に掲げた3つの数値目標の達成には至らなかったことから、今後はより一層、官民が連携し、第2期計画の検証を十分に行い、ハード・ソフトの幅広い施策・事業を盛り込んだ次期計画(第3期)を策定する必要がある。【都市整備局】民間主導により、丸亀町商店街等で計画された再開発のうち、未着手の街区において、より魅力のある空間を創出することにより、中央商店街全体のにぎわいを取り戻すことを目指しており、事業化に向けた関係権利者の合意形成や事業スキームの確立が課題である。

施策推進の方向性

【市民政策局】中心市街地の活性化に向けて、たかまつ創生総合戦略、高松市立地適正化計画等を踏まえた次期計画(第3期)の必要性を明確にし、現状分析や課題の抽出を行い、民間事業者等との情報共有や連携を図り施策・事業を展開していく。【都市整備局】激しさを増す都市間競争において、本市の優位性を更に高めるために、中心市街地の活性化は重要な継続課題であり、社会経済情勢を見極めながら、各事業の進行管理や精査・検討を行うことで、効果的に事業に取り組み、拠点性を発揮できる都市機能の充実に努める。

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

		基本事業名					
#	かた	よ居住環境の充実				(総合評価) A	
	₹.		得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		高松丸亀町商店街再開発事業	87%	А	継続	丸亀町商店街の通行量	86.6%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

由心	<u>基本事業名</u> 市街地の来街魅力の強化				(総合評価)	
重:		得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
	(評価対象外)サンポート高松管理事業					
	(評価対象外)サンポート高松北側街区整備事業	É				
					コトデン瓦町ビル8階高松市行政サービス施設(仮称	
	(評価対象外) 瓦町駅ビル利活用事業)整備進捗率	
	基本事業名				(総合評価) A	
ダ1	ムリーな情報発信による回遊促進 事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
П						
	(評価対象外)中央商店街調査事業	100%	Α	継続		
	(計画对象外)个人同点因则且争采	100%	_ ^	継続		
	(正)则对象外,个人问归时则且事未	100%		継続 		
H				継続	中央商店街の歩行者通行量	84.1%
	中心市街地活性化推進事業(まちづくり企画課分		A	継続継続		84 . 1%
		,			中央商店街の歩行者通行量中央商店街の空き店舗率	84.1%
	中心市街地活性化推進事業(まちづくり企画課分)	87%				
	中心市街地活性化推進事業(まちづくり企画課が) (評価対象外)中心市街地活性化推進事業(都可能)	87%				
	中心市街地活性化推進事業(まちづくり企画課分)	87%				
	中心市街地活性化推進事業(まちづくり企画課が) (評価対象外)中心市街地活性化推進事業(都可能)	87%				
	中心市街地活性化推進事業(まちづくり企画課が) (評価対象外)中心市街地活性化推進事業(都可能)	87%				
_	中心市街地活性化推進事業(まちづくり企画課が) (評価対象外)中心市街地活性化推進事業(都可能)	87%				
	中心市街地活性化推進事業(まちづくり企画課が) (評価対象外)中心市街地活性化推進事業(都可能)	87%				
	中心市街地活性化推進事業(まちづくり企画課が) (評価対象外)中心市街地活性化推進事業(都可能)	87%				
	中心市街地活性化推進事業(まちづくり企画課が) (評価対象外)中心市街地活性化推進事業(都可能)	87%				
	中心市街地活性化推進事業(まちづくり企画課が) (評価対象外)中心市街地活性化推進事業(都可能)	87%				
	中心市街地活性化推進事業(まちづくり企画課が) (評価対象外)中心市街地活性化推進事業(都可能)	87%				
	中心市街地活性化推進事業(まちづくり企画課が) (評価対象外)中心市街地活性化推進事業(都可能)	87%				
	中心市街地活性化推進事業(まちづくり企画課が) (評価対象外)中心市街地活性化推進事業(都可能)	87%				
	中心市街地活性化推進事業(まちづくり企画課が) (評価対象外)中心市街地活性化推進事業(都可能)	87%				